

写真に描かれた家族の歴史・柳川の歴史

公益財団法人立花財団 立花家史料館 内海高子



【写真1】中山農事試験場のブドウ棚（昭和初期）

江戸時代に柳川の藩主を務め、近代には伯爵家だった立花家には、現在未調査のものも含めると8000点以上の古写真があります。

明治新政府によって旧藩主の華族は原則として東京で暮らすことが定められ、立花家も明治4（1871）年に他の旧藩主家と同様に東京へ移住しました。やがて明治20年になるとその規則が緩和されたことから、立花家は明治22年に貫属（所属する自治体）を東京から柳川へ変え、生活の場を移しました。

立花家が柳川で生活するきっかけをつくったのは、14代当主立花寛治です。寛治は「農業の振興こそが国のためになる」と考え、中山の地に私設の農事試験場を開きました（写真1）。葉物野菜や果物、茶に至るまで、あらゆる作物の実験栽培をしたり、種子交換会や品評会を開催したりと積極的に活動を展開し、その成果は全国の農業振興のために大きく役立てられました。各地に試験場が増え、国の農業政策も整えられた頃、一通りの役目を終えた中山農事試験場は、商品作物を栽培する立花家農場に改められました。現在は立花いこいの森へとさらに姿を変えて、多くの人に親しまれています。

変わりゆく風景がある一方で、変わらない風景もあります。例えば伯爵邸（現在の柳川藩主立花邸 御花）の正門から西洋館を望む風景がその一つです。昭和初期に撮影された写真をご覧ください（写真2）。鉄の門扉は戦時中に政府に提供したため、現在とは違っていますが、門柱や門番詰所、西洋館前の蘇鉄など、現



【写真2】伯爵邸正門前（昭和初期）



【写真3】矢部川での漁

在とそっくりそのままです。当時の人々も、私たちと同じ景色を見ていたのでしょう。

このような公的な要素が強い写真の他に、プライベートな生活が垣間見える写真も多くあります。矢部川での漁（写真3）や有明海での潮干狩りを楽しんでいる様子、旅行先の風景や記念日に写した家族写真などからは、地方に住む華族の姿をうかがい知ることができます。

写真に描かれた内容を一枚一枚丹念に読み解いていくと物語が浮かび上がってきます。たくさんの写真を調査することでそれぞれの物語がつながり、やがて大きな歴史の物語へと発展していきます。明治中期から始まる立花家の写真群にも、立花家という家族と柳川の100年以上に渡る歴史が鮮明に描かれているのです。

ひとを結ぶ。
まちを結ぶ。

column
No.92

地域おこし協力隊

ライブ配信活動をする吉原さん



SNSを活用した地域商社を目指して

4月から地域おこし協力隊になりました、吉原彩里です。商工・ブランド振興課に所属し、柳川の地域資源の発掘、販路開拓、収益強化事業に携わります。

前職はテーマパークスタッフや、ライブ配信者として活動していました。地域とライブ配信を繋げた「ライブコマース」をするのが目標です。ライブコマースは、オンライン上でやりとりしながら商品が買える方法です。日本ではまだ広まっていますが、中国では主流のマーケットとなっています。配信やInstagramでの発信を続けながら活動していきます。

異文化に興味がある私は、高校生の時にフィンランド留学をしていました。特に言語に興味があるので、この地域に「柳川弁」があることは本当にうれしいです。最近「ぞーたんのごつ」を覚えました。

九州自体ほぼ初めての私にとって、柳川での生活は驚きの連続でとても楽しいです。街中で見かけたら、柳川のことをたくさん教えてください。これからよろしくお祈りします。



吉原 彩里（22歳）

【プロフィール】市商工・ブランド振興課に所属。地域資源の発掘や収益強化事業を担当

「立花宗茂と閻千代」招致活動応援グッズを販売



イベントを通じて大河ドラマ招致活動をPR

サクラが満開を迎えた3月27日に流鏝馬が、4月2日には秀ノ山親方（元大関琴奨菊）を迎えて「どすこい！柳川2022」がそれぞれ三柱神社で開催されました。この2日間とも会場内に大河ドラマ招致活動PRのためのブースを設け、応援グッズを販売しました。前回のコラムで紹介した宗茂と閻千代のインクは「広報や新聞で見たよ」とお声かけいただき、うれしかったです。

また、5月3日には、3年ぶりに開催された「福岡市民の祭り 博多どんたく港まつり」に「立花宗茂と閻千代」NHK大河ドラマ招致どんたく隊の一員として参加しました。パレードを見学していた多くの人に、柳川のことや大河ドラマ招致活動を知っていただくお手伝いが出来たのではないかと思います。最近はイベントに参加する機会も増えてきて、大河ドラマ招致活動に従事できている実感が湧いています。引き続き、招致活動や柳川のPR活動を頑張ります。



楠田 千佳（45歳）

【プロフィール】市観光課に所属。柳川プロモーションを担当